

2012 年 12 月 クラブランレポート

基本データ

クラブラン実施日	2012 年 12 月 16 日
クラブラン名称	レインボーブリッジ～東京ゲートブリッジ
コース概略	JR 品川駅～レインボーブリッジ～お台場～若洲海浜公園～東京ゲートブリッジ～ 泉岳寺～JR 品川駅(残念ながら水上バスは乗れませんでした) 約 40km
集合場所	JR 品川駅 10:00 集合、10:30 出発
クラブラン担当者	N 川
レポート担当者	O 笠原、T 崎、O 湖+H 立
参加者	9名 (N 川、S 原、N 山、H 立、T 葉、T 崎、W 邊、O 湖、O 笠原)
天候	快晴・・・小春日和

レポート本文

「小春日和のお台場ポタ」

○笠原

前日の冷たい雨がうそっ! っていうくらい見事に快晴。予想最高気温は15度という自転車日和。

今回のコースは、N 川さんご提案のレインボーブリッジと東京ゲートブリッジを歩いて渡る、東京シーサイドポタリング。



ワシのGPSロガーがなぜだかレインボーブリッジの途中からログを採っていなかったのが、キオクをたよりにマップを作成。

なので、今回はGPSサマリーはありません。

品川駅10時集合ってことだけど、14kgの KHS を担いであのだだっぴろい品川駅をえっちら歩くのは願い下げ。

京急で2駅前の『新馬場』で下車して、自転車を組む。

ここは東海道「品川宿」 ちい散歩で地井さんが歩いてたんで、いっぺん行ってみたいと思ってました。



赤い橋の向こうにあるのは、荏原神社。品川の鎮守様で龍神様が祭られているとのこと。

今日の無事をお願いしました。

ここから10分とかからず品川駅に到着。

全員が集まったところで、スタート前のミーティング



総勢9人で20吋フォールディング3台、20吋ミニベロ2台、クロスバイク2台、ロードバイク1台という構成でした。
(おもしろいのはミニベロの2台。1台は 406 規格、もう1台は 451 規格)

ワタシも並べて見たのは初めてで、こんなに違うんだあ！と**びつくり**しました。

レインボーブリッジは自転車が走行して渡るのは禁止。

でも、自転車で渡りたがった人が大勢いたんでしょう。車輪を固定して渡らせるところになったようです。



橋のたもとに行くと、警備のおっちゃんが、手作り感満載の台車を渡してくれます。

ちゃんと、小径用と大径用が用意されてました。

ワタシの8.5吋はどうする？たぶん、たたんで縛られるんだろう。

スタンドが地面に着かないから、ものすごく自転車の座りが悪いです。

防犯登録番号を申告して手続き完了。

ガラガラと盛大な音をたてながら橋を渡ります。



「ミニチュアライズ」という機能を使って撮ってみた、レインボーブリッジ竹芝側のループ



ビルの陰にかろうじて富士山が見えました。
その手前は丹沢でしょうか、箱根でしょうか

50mを越える高さは景色がいいです。
ランドマークタワーもベイブリッジも見えました。(写真はないです)



足下にあるのは人工の島
「お台場」の地名の由来となった海上砲台で、「品川台場」と呼ばれていたんだそうです。
で、この島は第六台場。

ペリー提督は、これがあったため、横浜に来たんだそうです。
なるほど！幕末かぁ！
その時代のモノだったんだ。



その向こうが「お台場」
「臨海副都心」とも言うらしいが。

人工島はもう1つあります。
第三台場
こっちは「お台場海浜公園」から地続きで、歩いて回れるみたいです。

ちょっとだけ反対側の景色もみてみましょう。



レインボーブリッジ



東京タワー



スカイツリー

ちっちゃ過ぎてワケワカランですなあ。

橋を降りて、海浜公園の船着き場に向かう。橋の上から HIMIKO が見えたんで、行ってみましょう。



松本零士プロデュースです



ガンダムを横目に見ながら若洲
海浜公園に向かいます。

ビームサーベル持ってへんよ。
このガンダム。



海の向こうに見えるのは「デズニーランド」
 なんとらいう山が見えました。(名前しらんも〜ん)

東京ゲートブリッジは、橋のたもとに自転車をおいて、歩いて渡ります。自転車は入れません。
 まあ、行き止まりですから、台車でガラガラしても意味がないわけです。



スカイツリーの左に見えるのは・・・
 左から男体山、大真名子山、女峰山
 だと思います。

橋の下を変な船が通過して行きます。



舳先に「御座船」と書いてました。
 調べてみたら・・・

東京湾内のクルーズ船で、
安宅丸(あたけまる)
 だそうです
 箱根の海賊船みたい。乗ってみて～。



左から見たゲートブリッジと右から見たゲートブリッジ

ちょっと時間が押してしまい、水上バスに間に合いそうになかったので、自走で泉岳寺へ。
17時に泉岳寺に着いたけど、外はもう真っ暗。閉店時間となってしまう、中を見ることもできませんでした。

ゴールの港南口へのルートを相談してたら、お土産屋のおっちゃん、抜け道を教えてくださいました。

大木戸のそばに線路の下をくぐるルートがあるんだそうです。
教えられた通りに進むと、築山みたいなのがあって、こんな碑が建っていました。

大木戸ってのは、江戸の出入り口。
ここから先が江戸ってわけです。
品川は江戸じゃないんですよ。
だから、品川沖で採れた魚は江戸前じゃないんですよ。知ってました？



少し品川駅の方に行くと、ガード下をくぐる道がありましたが……低っ！高さ制限150cmくらいか？

おもしろい経験が沢山できた楽しいポタリングでした～。

ちょっとだけ蘊蓄(Wikiのコピペですけど)

レインボーブリッジ（正式名称は「東京港連絡橋」です）

港区芝浦とお台場を結ぶ吊り橋

1987 年着工 1993 年竣工 同年 8 月 26 日開通

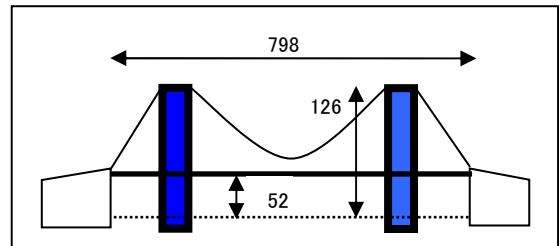
橋長(アンカレッジ間)=798m 塔高=126m 橋桁高=52m

中央部のケーブル径=762mm スtrand数=127 本 スtrand
径=70mm

上下2層構造で上層は首都高速 11 号台場線

下層はゆりかもめ+臨港道路海岸青海線+レインボープロムナード

狭いエリアで 50m を稼ぐために芝浦側はループになりました



東京ゲートブリッジ(工事中は「東京港臨海大橋(仮称)」でした)

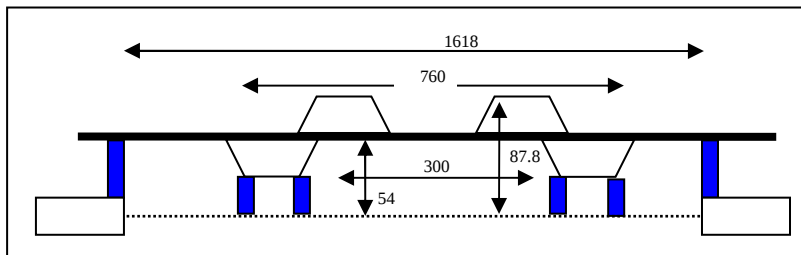
江東区若洲と中央防波堤外側埋立地を結ぶトラス構造橋

「東京ゲートブリッジ」という名前は公募で決定しました

海上部長=1618m 橋高=87.8m 橋桁高=54.6m

羽田空港があり、航空法の規定で橋高の制限(98.1m)をクリアし、桁下 54.6m を確保
するため、このような構造になりました。

埋立地で地盤が軟弱であるため、さまざまな免震技術が使われています



萬松山泉岳寺（曹洞宗 江戸三箇寺の1つ）

創建は慶長17年(1612 年) 本尊は釈迦如来

浅野長矩(ながのり)と赤穂浪士が葬られています

大星由良助ら四十七士が主君塩谷判官(えんやはんがん)の敵、高師直(こうのもろのう)の首級をとって
切腹する

っていうアレです (いわゆる報復ってやつです)

(討ち入りの夜は雪は降っていなかったらしいし、揃いの火事装束もナシ、陣太鼓も ナシだったようです)

…史実ってアジケナイですねえ

「12月クラブランレポート」

T 崎

何ていう山??? それは、TDL のビッグサンダーマウンテンです。たぶん…

O 原さん、何でも知っているのです、つい、走りながらでも話したくなります。

私、うるさく後ろから何か言っていましたよね…これが、年末の走り納めにつながっています。

今回のランでは途中、良く歩きました。それが幸いして、いろいろな方と話すことができました。

N 川リーダー、ほんと、そこが今回良かったです。

で、中でも、一緒に走るのが初めての S 原さん、N 山さん、T 葉さん。

今日はどんな姿を見せてくれるやら…注目していました。

入会 1 年にして、ようやく周りを見回す余裕が出てきました。

クラブランでは、毎回、何か新しい発見をすることを目標にしています。

N 山さんは、おしゃれです。ランチにパスタを注文していらっしゃいました。

さすが、イタリアを輪行で縦断していらした方です。

一方で、他の皆さんは、丼とか、うどんとか、超庶民的でした(私もその一人)。

S 原さんの一言、「見えないものは難しいけど、機械など見えるものは分かりやすい」

この一言に私は妙に納得してしまいました。

自転車は見えるから、分かりやすいです。ギヤ比だとか、ブレーキの仕組みとか。

世の中には見えないことがたくさんあります。(内蔵ギヤは見えないけど)

見えないものに翻弄されている自分を感じてしまいました。

S 原さん、含み多き言葉をありがとうございました。

初参加の T 葉さん、帰りの品川駅できっぱり、「次回は輪行袋買ってきます」

と決心されたように言われていたのが印象的でした。次回も参加してくれるでしょう。

また、仲間が増えそうです。

今日も大満足の日でした。リーダーの N 川さん、ありがとうございました。

N 川さん、船に乗るところを急きょ、でも難なく陸路に変更されたところ、凄かったです。

銀座あたりを自転車で走るのは気持ち良かったです。(ミスマッチのようで)

私個人としては、2 年前の冬に、レインボーブリッジの入口まで自転車で行って渡れずに終わったのですが、

その無念をも晴らすこともできました。

今回も、YMCC の皆さんに感謝です。

あるときはチャリを曳き、あるときは手ぶらで空中を行く

12月クラブラン「レインボーブリッジと東京ゲートブリッジを渡るポタリング」O湖

12月を迎え、急に冷え込む日が続くようになったある日のクラブランでした。

心配された前日からの雨もあがり、晴天となった日曜の朝です。わたしは不思議なくらい暖かい空気の流れるなか、本日搭乗する20インチ小径車を最寄り駅へと走らせておりました。

つい先月、「江戸川・利根運河・利根川」クラブランでは、のんびり走ろうにもペダリングをせかされる小径車には飽きたと思っていたのですけれどね。それが再びの出番となりました。なぜかと申せば水上バスに乗船するからです。

水上バスの狭い後甲板でチャリの向きを転換したり、支えて立っているには小型の機体なら取り回しがよろしいかと思ひまして。また交通量の多い都会の道路ですから、歩道に行くこともありましょう。そのときは前後長の長い700C車輪の機体に比べ、軽快な小径車の操縦性に助けられることもあるかと思ったわけです。



後輪に移動用の台車を噛ませて



輝く未来へ歩きだす

レインボーブリッジの通行は、指定された歩道をチャリを曳いて歩くようになっております。橋の入口では、備え付けの台車を後輪に固定するよう係員に指示されました。噂では、チャリ曳き歩行に飽きたお客さんが途中で乗車しないよう、後輪に「足かせ」をするのだとか。

みなで賑やかにガラガラと音を立ててひきずっていくと、まるでカーニバルのお祭り騒ぎです。



小春日和の橋上、ここからが長い



橋上の展望台で、疲れてしゃがんでしまった

レインボーブリッジは橋部分の長さ約800mです。けれどわたしたちは歩行者入り口から出口まで2km弱も歩いておりました。出口で台車を返却するとき、係員のおじさんから「お疲れさまでした」と優しいお言葉をかけていただきました。きっとこの人も、チャリを曳いて橋を渡ったことがあるのかも。

さて足枷を外して自由になったわたしたちの次に目指すのは東京ゲートブリッジです。こちらは橋のたもとに駐輪して、手ぶら歩行で渡りました。

橋上では海風が強いのかなと心配しましたが、じつに穏やかな風力にして陽射しの暖かいこと。絶好の散歩日和となりました。



明日に架ける東京ゲートブリッジ



海面上55m、橋の中間800m地点で

チャリで散歩することを「ポタリング」と呼ぶそうです。今回はほんとうにお散歩が行程に組み込まれていますから、本日はすでにチャリに搭乗した時間よりも歩行する時間の方が長いです。

それにまだこのあとにも徒歩で行くような道行きがありそうですしね。今日一日でいたいどれくらい歩くのやら…。

今回担当してくださったN川さん、驚くべき企画力なんです。どちらの橋も通行は無料だし、レインボーブリッジではアトラクション的な台車歩行を体験できて、東京ゲートブリッジでは抜群の眺望により楽しませていただきました。昼食も陽あたりの良いテラスで、くつろいで会食できる場所を事前調査のうえご案内いただきました。じつに優雅にしてみたりと中身の濃い時間を過ごせて、クラブ活動にこういう時間はとてもたいせつに思えるのです。



暖かなお台場海浜公園ビーチ、泳げるかも

N川さんに、今回のクラブランで得たことなどお話をお聴きしましたところ、下記のようにお話ししてくださいました。

「いつものクラブメンバーと気がねなく自由に会話しながらのランは本当に楽しいと感じました。なかには不都合、不平があっても、皆さん暖かい気持ちで受け入れてくださったのはクラブランならではのことでしょう。今回は予定したコースの全てを完走することはできませんでした。クラブランの場合には、単独で走る場合の距離、時間設定に対して7割位でみておくことが必要かと感じました」

太陽も西方に傾き、暖かかった陽光もかげってききましたので、予定していた水上バスは惜しくも割愛することになりました。

9機のチャリ編隊は都合により1機が離脱し、残る本隊は薄暮走行となって本日最後の立寄り予定地「泉岳寺」へと向かいます。

討ち入りの時節柄です、門前は大石主従を弔う善男善女で賑わっているかと思いきやひっそりと静まり返っておりました。参道の土産物店も本日の営業終了、早や店じまいの仕度中です。そんなときでも親切な店のご主人が、品川駅東口への近道を教えてくださいました。

江戸八百八町への通行門だった「大木戸」。この史跡の近くにJRや京急などの線路下に行く通路があるそうです。ちなみに港区教育委員会の運営による「港区ゆかりの人物データベース」によると、伊能忠敬はこの大木戸をもって日本地図を作るための測量の起点としたとか。



制限高1.5mの線路下通路、低い



頭が天井に着くので、身を屈めて通行する

通路の入口には、頭上というか額の当たりそうなくらい低いところに制限高1.5mと大書してあります。わたしたちは向こう側に抜けるまでずっと頭を下げ、腰をかがめてチャリを曳いて歩きました。

たしか静岡市清水区にもこのように低い線路下通路がありましたっけ。愛すべき「しみずママチャリライド」スタッフのみなさんが案内してくださったその場所は、日本一低いと呼ばれておりました。

手荷物を預けたコインロッカーのある品川駅東口に戻りまして、みなさん自慢の愛機をたたみました。反省会では、本日の担当N川さんのご案内により安全に楽しく走ってきたことを祝って乾杯、N川さんのお嬢さんのご結婚を祝して再び乾杯、当クラブ会員では数十年振りといえるT地さんのご成婚を祝いさらに乾杯しました。

参加者常連のH立さんから本日の感想をいただきました。

「オーナーの徳により快晴と暖気が齎されたこと、まことに喜ばしいものでした。レインボーブリッジ遊歩道からのお台场景観の美しさは、車や船からでは見えないもので値千金でありました。ペリー来航から慌てて海岸砲台として築いたものが、今や大都市東京の余裕を示す美景となり、築城に当たった方々の美意識に感心いたします。

ゲートブリッジは、2010年2月14日のクラブランで未だ兩岸の橋梁が接続に至らないところを見ましたが、今回中央の接続点(兩岸恐竜の接吻点)に立つことができました。こちらは現代の高度な技術力に感心いたします。

自転車だからこそ可能な観光を楽しみ、私は自宅からの自走を加えて60km強の走りができて、この時期の運動不足解消になりました。ありがとうございました。」

N川さんには、本日のクラブランを振り返っていただいて、今後のクラブ活動についてのお考えを述べていただきました。

「以前から考えていることですが、心身ともリラックスしてのポタリングと、走りを重視したツーリングとは全く性格の異なるものです。クラブメンバーの嗜好に合わせ、性格を明確に表わしたランをそれぞれに催行することが必要かと思います。両方を兼ねて中途

半端なクラブランを催行し続ける事は、どちらのメンバーにも不満がたまるのではと懸念します」

なるほど、硬軟の両面を併せ持つひとつの企画よりは、目的をはっきりとした別々の企画で2本立てにしようというご提案ですね。クラブランをリラックス系とスポーツ系とで毎月催行できたら面白いでしょう。多様な走り方を体験することで、クラブの方向性を模索する。みなで意見を出し合ってより充実したクラブ活動を盛り上げていきたいですね。